

(仮称)綾瀬スマートインターチェンジについて



※本図面は、(仮称)綾瀬スマートインターチェンジの現時点での概略イメージです

平成25年6月20日(木)・23日(日)

綾瀬市文化会館 小ホール

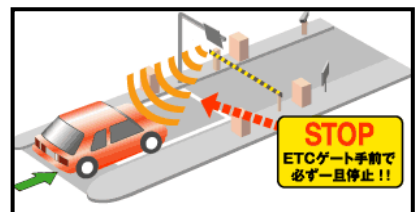
神奈川県・中日本高速道路(株)・綾瀬市

目 次

1	(仮称)綾瀬スマートインターチェンジの目的	1
2	これまでの検討経緯	1
3	期待される整備効果	1～2
4	計画の概要	2
5	今後の事業の進め方	2

スマートインターチェンジ(スマートIC)とは

スマートインターチェンジは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、通行可能な車両(料金の支払い方法)を、ETCを搭載した車両に限定しているインターチェンジです。



<お問い合わせ先>

○神奈川県 厚木土木事務所 東部センター 道路都市課

電話：(0467)79-2800

○綾瀬市 都市建設部 インター推進室

電話：(0467)70-5686

1 (仮称)綾瀬スマートインターチェンジの目的

東名高速道路の横浜町田 I C と厚木 I C は、約 15 k m 離れており、この間に位置する綾瀬市などからは、両 I C にアクセスしにくい状況にあります。

そのため、両 I C のほぼ中間に新たな I C を設置することにより、県民生活の利便性の向上や地域経済の活性化、さらには災害時における安全・安心の確保を図るとともに、既存の両 I C 周辺の渋滞緩和を図るものです。

2 これまでの検討経緯

○平成14年度～（綾瀬市）

綾瀬 I C の基本構想の検討を開始

平成15～16年度に「綾瀬インターチェンジ検討調査委員会」を開催

○平成17年度～（県）

I C の予備設計や環境影響評価(アセス)の現況調査等を実施

平成21年度から、国のスマート I C 制度の拡充を受け、スマート I C へ整備手法を変更

○平成22年度～（関係機関）

「(仮称)綾瀬インターチェンジの実現に向けた勉強会」を開催

○平成23年 1 月（関係機関）

「スマート I C 制度実施要綱」に基づく、「(仮称)綾瀬スマート I C 地区協議会」を設置

○平成25年 3 月（県）

「スマート I C 制度実施要綱」に基づく、実施計画書を提出

○平成25年 5 月（県）

国土交通大臣へ連結許可申請書を提出

○平成25年 6 月11日（県）

国土交通大臣から連結の許可を受け、(仮称)綾瀬スマート I C が事業化

3 期待される整備効果

①広域アクセス性の向上

県内において I C までの 5 k m 圏域が大きく拡大するとともに、綾瀬市など県央地域の広域アクセス性が大きく向上します。

②既存 I C 周辺の交通の負荷軽減

東名高速道路へのアクセスが分散されることから、既存 I C 周辺の交通の負荷が軽減されることが予測されます。

③救命救急センターへの速達性の強化

東海大学医学部付属病院及び昭和大学藤が丘病院までの所要時間が大幅に短縮され、周辺住民への救命体制の強化が図られます。

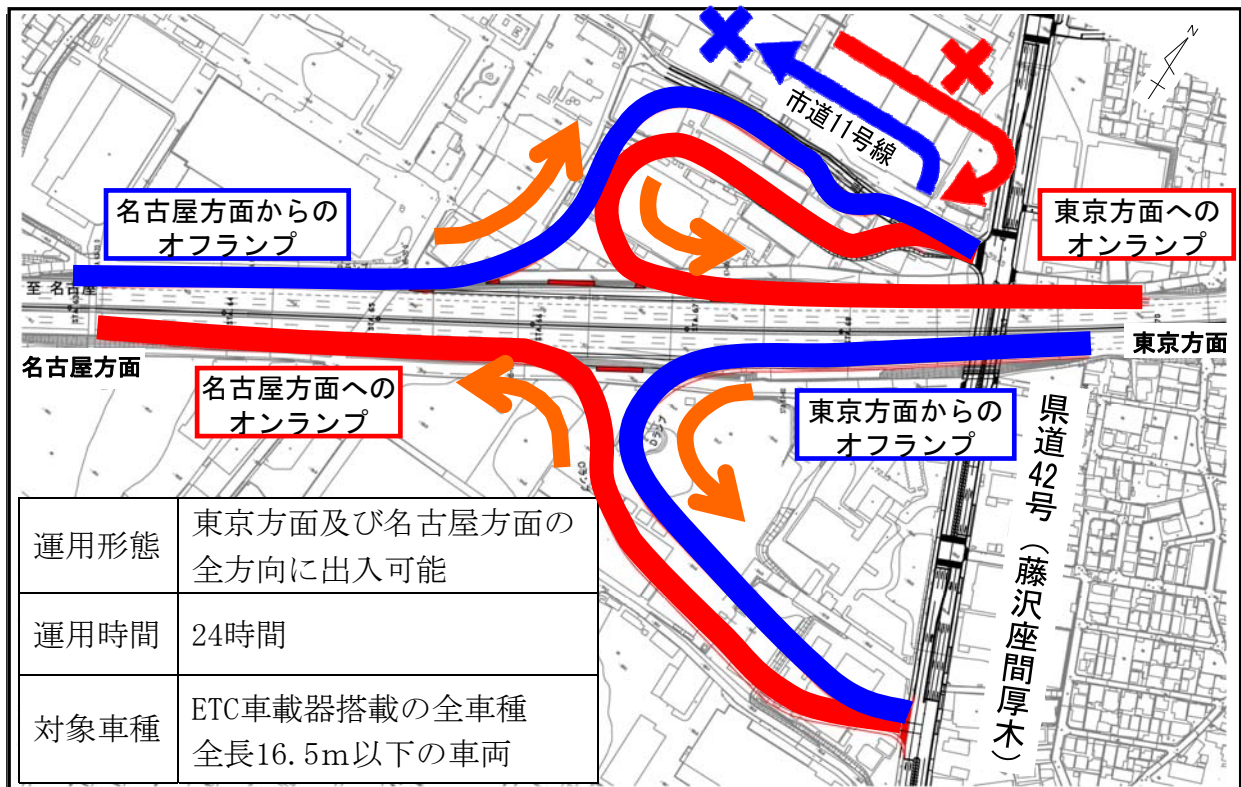
④企業活動の活性化

交通利便性や広域アクセス性が改善し、I C 周辺における企業活動の効率が向上するとともに、新たな企業進出など産業経済の活性化が期待されます。

⑤大規模災害時の防災力の向上

緊急輸送道路となる東名高速道路への玄関口として、救命・救急活動や物資の運搬などにおいて大きな役割を果たすなど、防災力の向上が図られます。

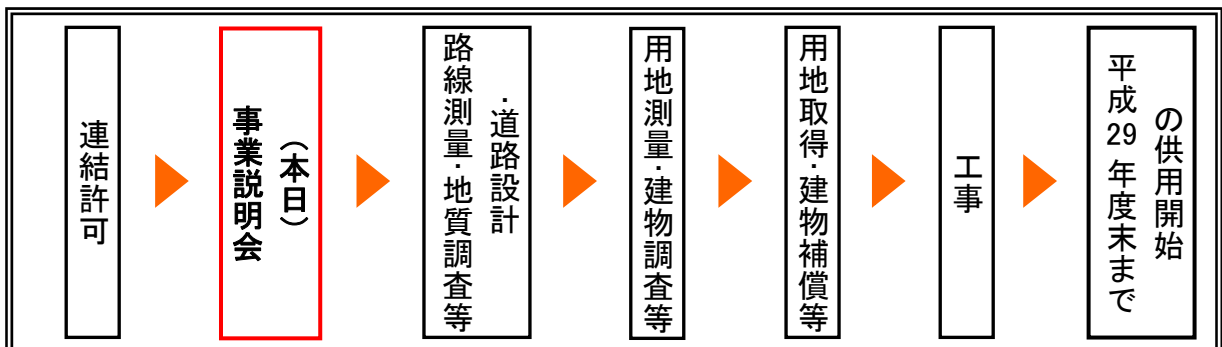
4 計画の概要



*本図面はI C構造の概略を示すものであり、確定したものではありません。

5 今後の事業の進め方

平成29年度末までの供用開始を目標に、地元の皆様のご協力を得ながら、関係機関と連携して事業を進めてまいります。



<今年度行う作業>

- ・路線測量 : 道路設計を行うため、中心線を決め、縦断図、横断図を作成する測量
- ・地質調査 : 道路設計を行うため、機械ボーリングにより地盤の状況を確認する調査
- ・道路設計 : 測量図面や地質調査の資料を基に行う、道路やインターチェンジの設計
- ・用地測量 : 各土地の境界を確認するとともに、事業予定地の面積を確定する測量
- ・建物調査等 : 事業予定地内にある建物、工作物、立竹木等の調査

※今後、「測量・調査・用地取得・工事」などを行う際には、関係する方々に事前にご説明をさせていただきますので、ご協力をお願いします。